

VRシリーズ 技術マニュアル



» はじめに

VRシリーズ

この度は、VRシリーズをお買い上げいただきましてありがとうございます。
弊社の自転車はご使用する方へ最高の商品をご提供する様にデザインされています。

正しく自転車を調節そしてメンテナンスしていただく為、このマニュアルをよくお読みください。

詳しい情報については下記ホームページをご参照下さい。

FELTBICYCLES.COM

» 内容

ご紹介

ジオメトリー 2

調節方法

ヘッドチューブケーブルガイド 3

フロントブレーキケーブル/ホースの取り回し方法 4

1x11フルハウジングケーブル/ホースの取り回し方法 5

2x11 Di2ケーブル/ホースの取り回し方法 6

2x11 メカニカルケーブル/ホースの取り回し方法 7

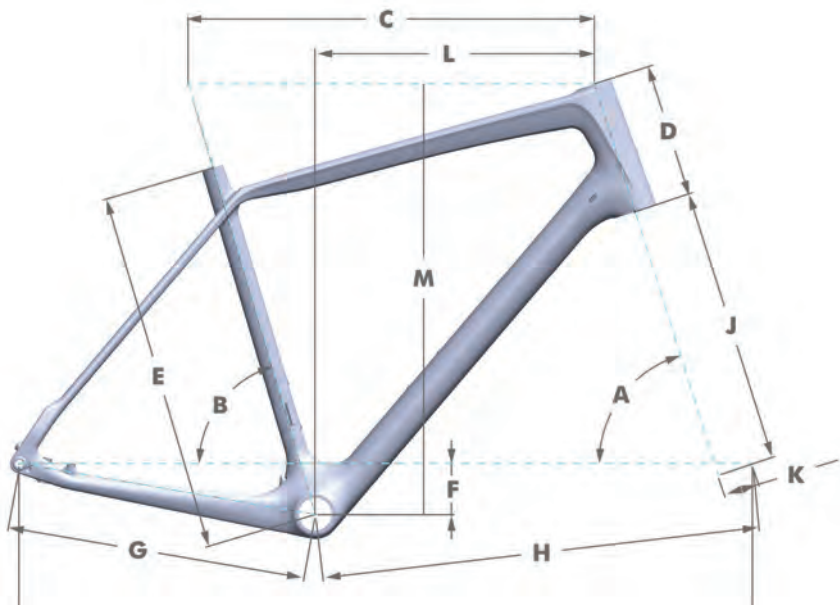
ボトムブラケットケーブルガイドの取り回し方法 8-13

グロメットの図解 14-15

お問い合わせ先の詳細

お問い合わせ先 16

》 ジオメトリー



	43	47	51	54	56	58	61	Size
A	70.3	71.3	72	72.5	72.5	72.5	72.5	Head Tube Angle
B	75.3	74.7	74.5	74	73.5	73	73	Seat Tube Angle
C	495	510	525	545	563	580	595	Top Tube Horizontal
D	115	130	145	165	185	205	225	Head Tube
E	410	430	450	480	500	520	550	Seat Tube
F	72	72	70	70	70	70	70	BB Drop
G	412	412	415	415	415	417	417	Chain stay
H	576	580	584	595	608	620	635	Front Center
I	977	981	989	1000	1013	1027	1042	Wheelbase
J	380	380	380	380	380	380	380	Fork Length
K	50	50	50	45	45	45	45	Fork Offset
L	52	52	50	50	50	50	50	Reach
M	521	539	555	576	595	614	633	Stack

》 ヘッドチューブケーブルガイド

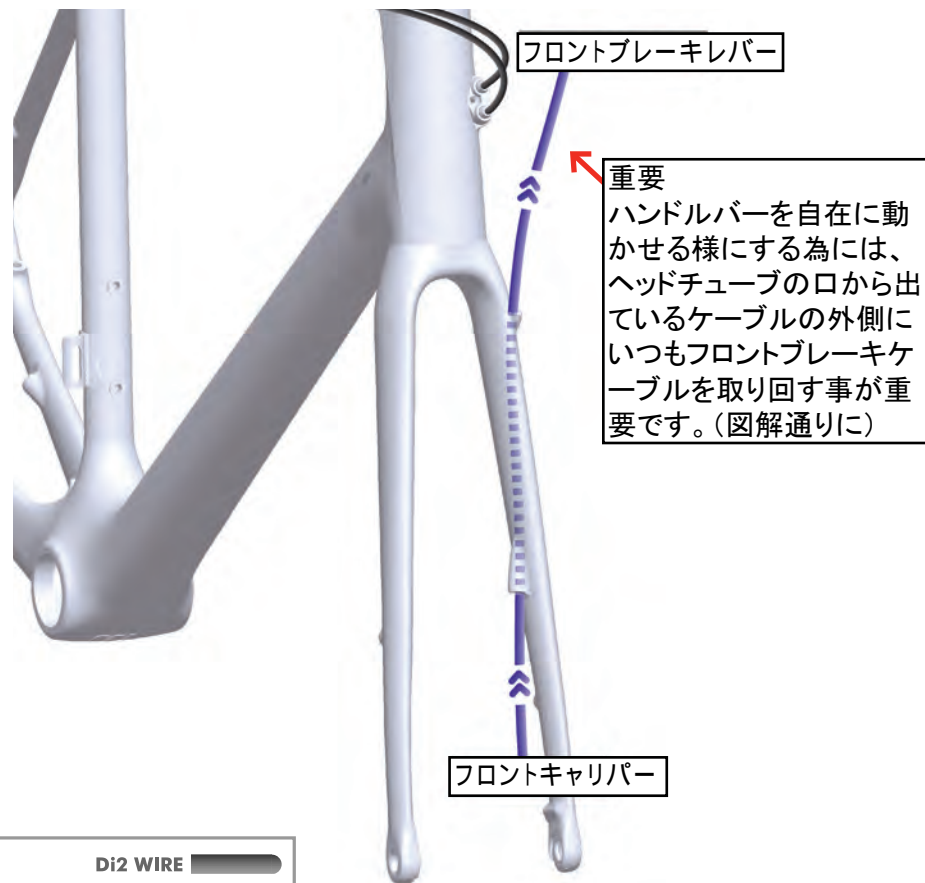
ヘッドチューブケーブルガイドには交換可能なゴム製のリデューサーが付属しており、ご使用する方の用途と好みに合わせて調整する事が出来ます。



Di2 (2mm) シフト (4mm) ブレーキ (5mm) ブランクプラグ (穴無し)

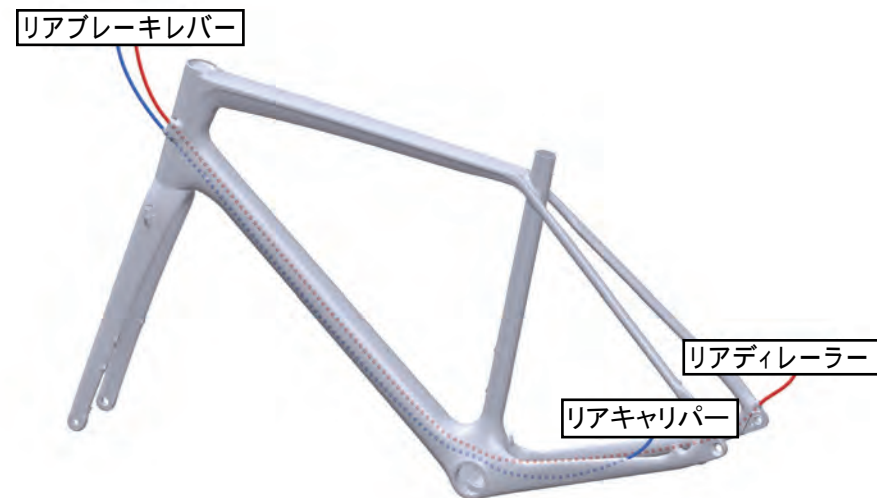
》フロントブレーキケーブル/ホースの取り回し方法

下から上へ向かってケーブルを取り回すのが望ましい方法です。ケーブルの末端を下部の穴に挿入し、フォークブレードにそって上部の穴へ通します。

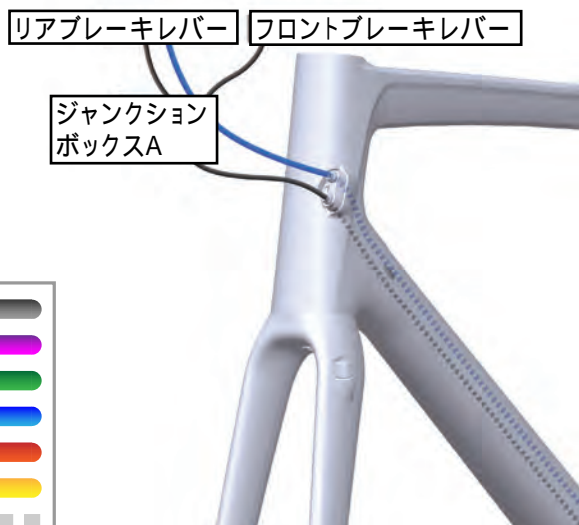
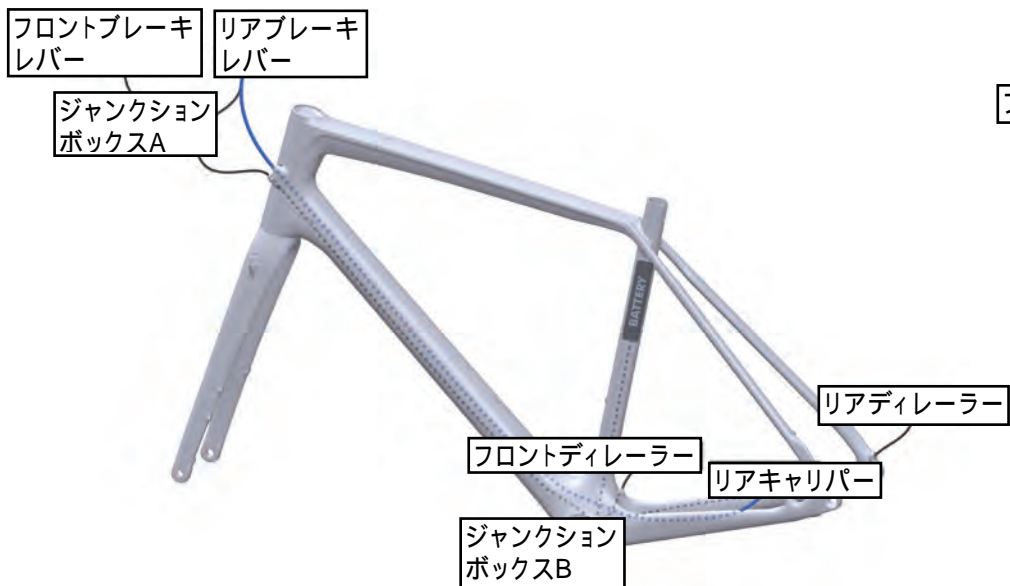


DI2 WIRE	
FRONT BRAKE	
DROPPER POST	
REAR BRAKE	
REAR DERAILLEUR	
FRONT DERAILLEUR	
INTERNAL ROUTING	

》1x11フルハウジングケーブル/ホースの取り回し方法

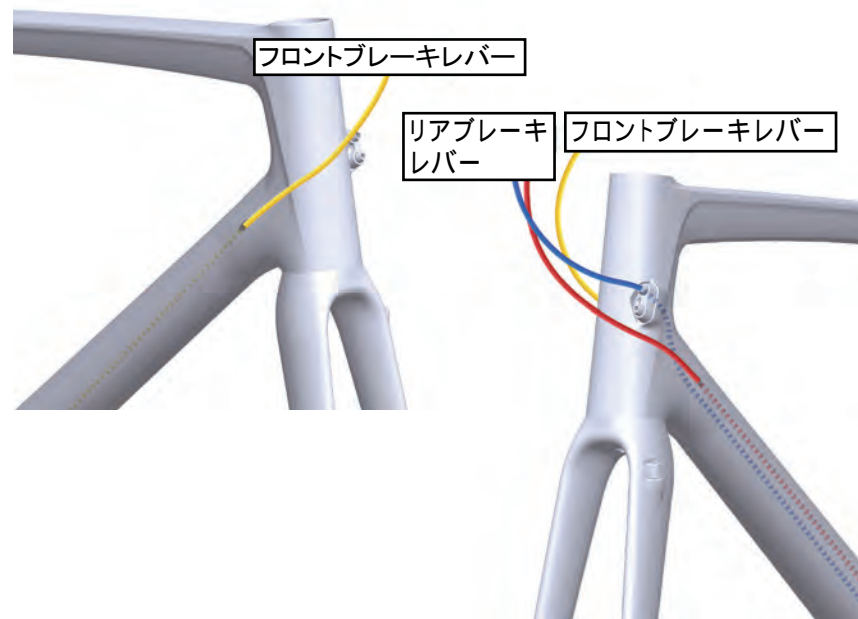
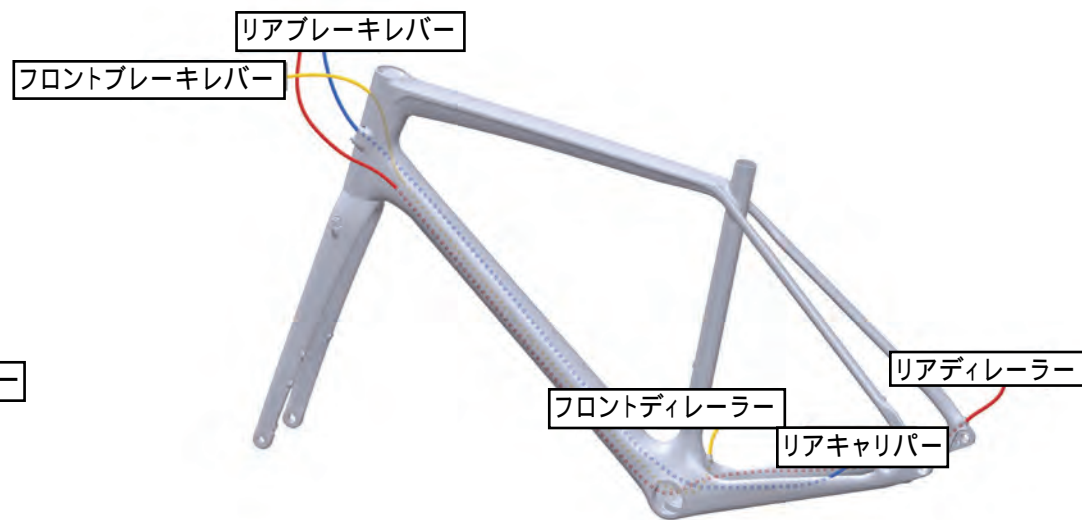


2x11 Di2ケーブル/ホースの取り回し方法

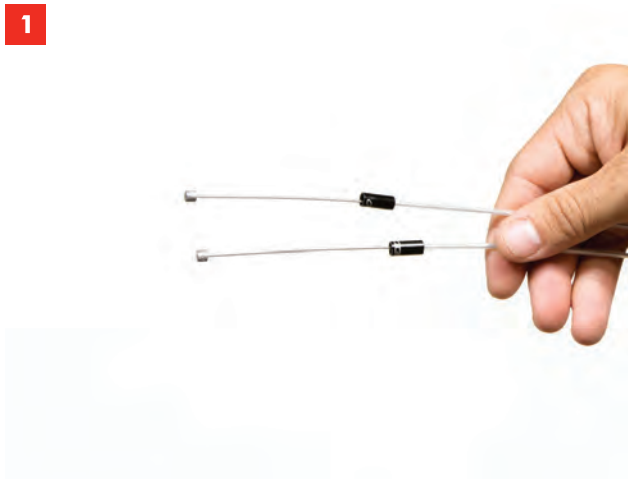


DI2 WIRE	
FRONT BRAKE	
DROPPER POST	
REAR BRAKE	
REAR DERAILLEUR	
FRONT DERAILLEUR	
INTERNAL ROUTING	

2x11 メカニカルケーブル/ホースの取り回し方法



▶▶ ボトムブラケットケーブルガイドの取り回し方法



付属のケーブルライナーをそれぞれのケーブルに通して下さい。取り回しの工程でケーブルライナーの曲がりと摩擦を防止します。



自転車のダウンチューブのノンドライブ側にある入り口にリアディレーラーケーブルを通して下さい。ボトムブラケットの下側の口からケーブルが出てきます。

▶▶ ボトムブラケットケーブルガイドの取り回し方法



ドライブ側のリアディレーラーで同じ工程を繰り返して下さい。ボトムブラケットの下側の口からケーブルが出てきます。



ボトムブラケットの下側の口から2本のケーブルが出てきたら、1回交差させる前に平行である事を確かめて下さい。

▶▶ ボトムブラケットケーブルガイドの取り回し方法



2本のケーブルを交差させた後、ケーブルをつままない様に注意しながらケーブルガイドを挿入して下さい。フロントディレーラーケーブルはノンドライブ側の溝に入り、リアディレーラーケーブルはドライブ側にそって入ります。



ケーブルを正しく入れた後、ガイドがボトムブラケットの下側と同じ高さになるまでプラスチック製ケーブルガイドを押しして下さい。抵抗がある場合、ケーブルがつままれているかどうかを確認して下さい。

▶▶ ボトムブラケットケーブルガイドの取り回し方法



フロントディレーラーケーブルを持ち、赤い丸がついている箇所にあるケーブルガイドのブリッジ下側に通して下さい。ヘッドチューブに近い側のケーブルの末端は、輪が出来る位に残して下さい。



フロントディレーラーケーブルを赤い丸がついている箇所に通し、ボトムブラケットシェル上のフロントディレーラーケーブル口から出して下さい。

▶▶ ボトムブラケットケーブルガイドの取り回し方法



ケーブルをしっかり通した後、ケーブルが引っ張られて輪が消えていく間、ケーブルが曲がらない様にきつく引っ張って下さい。



事前に通したリアディレーラーケーブルを次の工程に必要な分だけ引っ張り出して下さい。

▶▶ ボトムブラケットケーブルガイドの取り回し方法

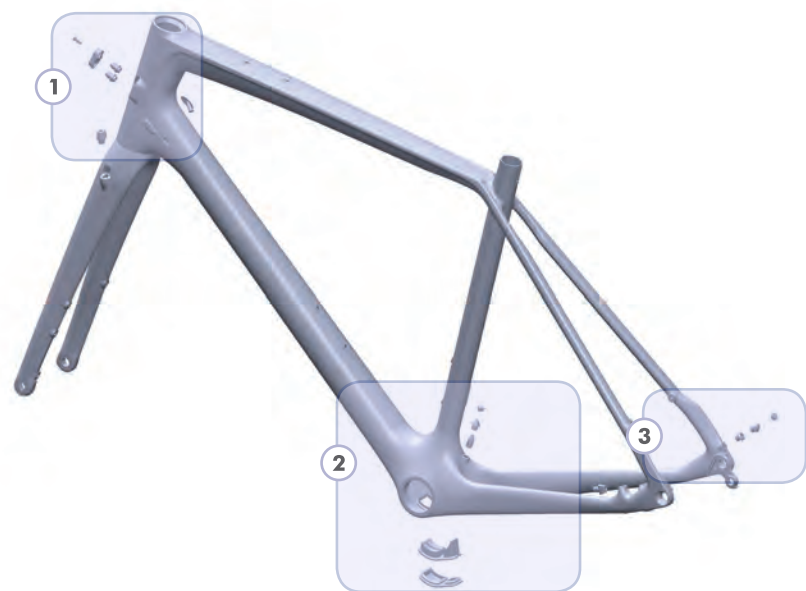


ボトムブラケットガイドの外側のケーブルに小さい輪が出来る位の余裕を作り、赤い丸の箇所にある口にケーブルを入れてチェーンステーに通して下さい。この工程で抵抗を感じる場合、ケーブルをひねるとチェーンステー内部で通りやすくなります。

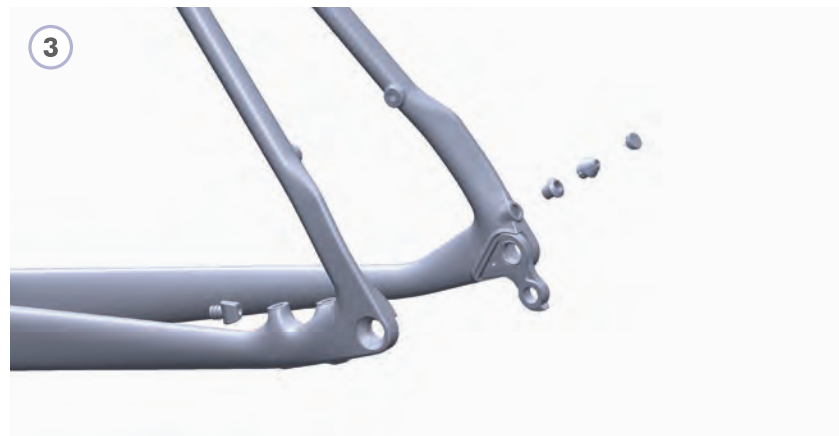


前の工程が正しい場合、ディレーラーケーブルはケーブルをきつく引っ張る事が出来るリアケーブル口から出てきます。この時点で、ケーブルはしっかりと取り回されています。

▶▶ グロメットの図解



▶▶ グロメットの図解の続き



» お問い合わせ先

アメリカ:

Felt Racing, LLC
12 Chrysler
Irvine, CA 92618
USA

ドイツ:

Felt GmbH
Industriestr. 39
26188 Edeweicht
Germany

公式ホームページ

WWW.FELTBICYCLES.COM

